

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	小中学生文化スポーツ振興基金・補助金	所管	教育委員会教育総務部 教育総務課
			TEL 2998-9232

事業の目的 (何の為に 行うか)	小・中学生の校外活動のうち、関東大会、全国大会等に参加するために要する経費を補助し、文化スポーツの振興及び保護者負担の軽減を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢市立小・中学校の児童生徒で、コンクール、発表会等の文化事業及び各種スポーツ大会などの校外活動に参加する者。	対象とした数	25,849	人
		実際に 利用した数	140	人

活動の内容	(何を したか)	①補助金の交付を受けようとする児童・生徒の在籍校の学校長が教育委員会へ申請する。 ②大会終了後に、精算払いとして学校長へ支出する。 ③学校長から対象児童・生徒へ交付する。							
		活動実績	項目名	交付金額	2144787	項目名		項目名	
			単位	円			単位		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,250	2,145	3,084	9.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	大会出場校からの補助金申請	申請数	20	26	130.0
			単位 件	単位 件	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 [ ]			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	120100	TEL	2998-9232
事業コード	120118	小中学生文化スポーツ振興基金・補助金	教育委員会教育総務部 教育総務課			
開始年度	平成 9 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	教育支援担当			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針					所沢市小・中学生文化スポーツ振興補助金交付要綱 所沢市小・中学生文化スポーツ振興基金条例		
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	5 健康な児童生徒の育成	小柱
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位				・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		コード			コード			
事業開始の背景		近年、小・中学生の文化スポーツ活動が多様化し、その多くは運営主体が全国組織化されている。児童生徒がこれらの大会出場を目標に、活動に取り組むことは個性の伸長や創造性を育むこととなる。しかし、全国大会規模の大会に出場することは、保護者の負担も大きい。その負担を軽減するとともに、小中学校における文化スポーツ活動の振興を図るために事業を開始した。						

③事業の内容	目的(何の目的に行うか、具体的に)						
	小・中学生の校外活動のうち、関東大会、全国大会等に参加するために要する経費を補助し、文化スポーツの振興及び保護者負担の軽減を図る。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	所沢市立小・中学校の児童生徒で、コンクール、発表会等の文化事業及び各種スポーツ大会などの校外活動に参加する者。			対象生徒数			
対象数	単位	平成 18 年度	25,848	人	平成 19 年度	25,849	人
		平成 18 年度			平成 18 年度	179	人
		平成 19 年度			平成 19 年度	140	人
事業の具体的な内容及び実施方法							
①補助金の交付を受けようとする児童・生徒の在籍校の学校長が教育委員会へ申請する。 ②大会終了後に、精算払いとして学校長へ支出する。 ③学校長から対象児童・生徒へ交付する。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
特になし						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		2,250	2,250	2,250	
	決算(見込み含む)		1,909	2,145		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )	
	正規職員人件費		0.10 人	920	0.10 人	939
	公債費					
	事業費合計		2,829	3,084		
	財源内訳	一般財源	0	0		
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他	2,829	3,084		2,250	
市民一人当たり(単位:円)			8.4	9.1		
利用数一単位あたり(単位:円)			15,804.5	22,031.4		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	交付金額	支払金額	円	/	1,908,290	2,144,787	2,250,000	2,250,000
成果分析	大会出場校からの補助金申請	申請数	件	目標値	20	20	25	25	
			実績	22	26	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		1	
			%	達成率	110.0	130.0			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	特になし				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定				
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
児童・生徒が一人一人の個性を伸ばし、創造性を育むためには、文化・スポーツ活動への取り組みは大変重要なことであるが、全国規模の大会に参加するために必要となる交通費や宿泊費等の経費の保護者負担は大きくなっている。本事業はそのような保護者の負担を軽減することで、学校における文化スポーツの振興を図り、成果をあげており、今後も継続していく必要があると考えている。					
評価日		平成20年5月15日	記入者職氏名		教育総務課 村上光利

⑨評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
	見込まれる貢献度	総合計上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
評価理由	評価日					<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画 本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード					
	◎次世代育成支援行動計画 本事業の左記計画における位置づけ… 有り 計画コード 1115					
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします				
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成				
施策の方向	1豊かな心と健やかな身体の育成					